

# 前田 将太 選手



# ナルホドDATA

※2023年12月17日時点のデータ

## ポートレース福岡

得意!

水面が合うというより、ファンが多いのが一番のモチベーション。お客さんがよく見えるし、本当に多い。お客さんが多いと気持ちが上がります。福岡の走り方もあって、ハンドルの切り方とかは少し違いますね。

## 得意or苦手

得意! 狭いレース場 苦手 唐津

地元3場は全部いい。最近気付いたのは戸田、江戸川、若松とか狭い所の成績がいいこと。以前は広い所が好きと思っていたけど徳山とかも成績はいいですね。何か合わないのが唐津。そう思うから余計にそうなのかも。

## 通算成績



## 全国

## 枠番別成績

インは圧倒的に勝てる。負ける気がしない。逆に6コースは圧倒的に勝ちづらい。それ以外は一緒ですね。

枠番	1着率	2連対率	3連対率	出走数
1号艇	69.0%	81.6%	87.6%	807
2号艇	22.7%	55.0%	72.4%	625
3号艇	23.8%	48.6%	65.5%	633
4号艇	22.0%	48.6%	66.0%	654
5号艇	15.0%	35.8%	53.3%	560
6号艇	7.8%	23.4%	43.9%	589

## コース別ST

2年間Fしてない平均STも早くなっている。一番難しいのはインです。

コース	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース	平均ST
ST	0.15	0.16	0.16	0.14	0.15	0.16	0.15
平均ST順	3.0	3.3	3.3	2.8	2.9	3.4	

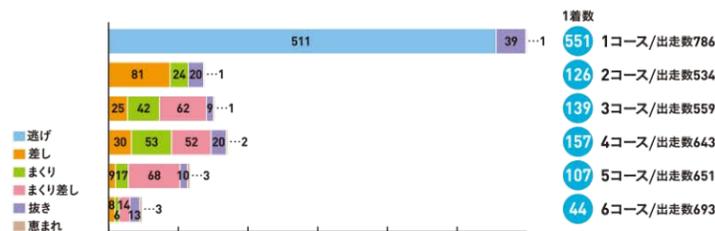
## 枠番別進入コース

2~5コースは展開や自力じゃないところがあるのでチャンスは一緒。準優になってもそういう感覚です。

出走数	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース	艇番
807	775	1	0	2	8	21	1号艇
625	10	516	41	13	19	26	2号艇
633	1	12	490	63	36	30	3号艇
654	0	1	26	501	81	44	4号艇
560	0	4	1	54	436	65	5号艇
589	0	0	1	10	71	507	6号艇

## コース別決まり手

こだわりはなくて勝てたら楽しい。レース前はいろんな展開を想定するけど、いい方にしかイメージしません。



# 2024年こそはグランプリ出場 ここ福岡からスタートダッシュ

11月27日、三国チャレンジカップ最終日の翌日。賞金ランク21位でグランプリ初出場は逃したものの、前田将太はいつものさわやかな雰囲気でもポートレース福岡に現れた。

「グランプリ勝負駆けについて」  
やれることはやってきたのでこれが結果だし、あれがこうだったとか言い出したらきりが無い。そういうのはありません。1月1日からの積み重ねなので、最後の二節だけに気負うというか、そういうスタンスでもないです。

「今年はずっとあと二歩の位置にいた。順位を上げられなかったと言えはそうだし、落ちなかったと言えはそう。自分の中ではキャリアハイなので良かったんじゃないかな。SGは注目度が高いので、そこで結果を残したいと思っています。」

「タイトルよりもグランプリ」  
グランプリに出たいし、毎年それが目標です。シリーズに出るとおまけでしかなくなって毎回思うんですよ。開会式から違い過ぎて負け感がエグい。面白くないなって。絶対あっち(グランプリ)に行こうって毎年思う。SGの優勝はもちろんしたいけど、走るレースは全部優勝したい。なのでタイトルを取りたいというより、1年の最後にグランプリに行きたい気持ちの方が強いですね。



「選手への道、レーサー像」  
僕はポートを全然知らなかったんですけど、兄ちゃん(前田健太郎)が選手になつてすごい優しくなつたんですよ。学年が2つしか離れてなくて、それまではメッチャ怖かった。けど、選手になつたら親孝行したり、僕をご飯に連れて行ってくれたり。柔らかいお肉を初めて食べて、選んで、選んで、選んで、選んで。おまえもなれって言われて視力が悪かったのも治してもらって。兄ちゃんには感謝しかないです。

「まだまだ強くなっている」  
どんどん上手になつているなと肌で感じるし、強くなつているなと自分でも思っています。若い時の好成績は勢いで、技術も絶対的にそうだし、上の人が辞めていくとどんどん自分が上になる。基本的に下に負ける気はしないので、そういう気持ちで行けるのがこれからの強み。これから10年くらいは一番いい時と思つています。今年よりも来年。怖さもあるけど、楽しみです。

「来年は福岡の新春開運特選レースからスタート。福岡水面への思い」  
福岡で負けられない気持ちは当然ありますよ。家から近くて見に来てくれる知り合いも多いし、若松、若松と3場ある中でも本当に地元で元気で感じですね。でも、そういう人が多いです。福岡2割増し(に強い)の選手が多いです。お盆や正月、GWを走る時、福岡では着を並べられない感じがある。だから走りたくないけどメンパ(メンパ)的には走りたくない。福岡のあつせんが入るとうれいけど、結果が残せなかつたらと思うと怖い。そんな両方の気持ちもあります。でも、(正月、盆、GW)の三大特選は大事なんですね。

「僕は流れ重視なので、最初がいい流れができれば、最初がいい流れができれば、最初がいい流れで見る。最初が良ければ、もう優勝できるわ」くらいの感覚になる。だから2024年のいいスタートが切れるように、新年初優勝を目指してしっかり頑張ります。」

登録番号 **4504**

**前田 将太 選手**

マエダ ショウタ

1988年3月23日生まれ  
身長/168cm  
体重/54kg  
福岡県出身  
福岡支部所属

**Present**

読者プレゼント

オリジナルクオ・カードを5名にプレゼント

QUO CARD

コチラよりご応募ください

取材の様子は本場とYouTubeで公開予定

## スポーツ報知 中村記者の

# 今月のベストモーター

## 1位 63号機

GI70周年で深谷知博が優出し、続く川上清人は重量級を感じさせないパワーを披露。「三都市対抗戦」では地元の篠原晟弥が操り、伸び中心に節クラスの動きだった。

## 2位 67号機

「報知杯」では通算2勝だった129期の森口和紀が節間3勝する大活躍。「三都市対抗戦」では篠崎仁志が伸びの良さを生かし、シリーズリーダーからの王道Vを飾った。

## 3位 27号機

「三都市対抗戦」では高倉和士がトップクラスの足色で優出3着。GI70周年の吉田裕平は予選敗退ながら、10戦中8回の舟券絡みとレース足の良さで着をまとめた。

